

千代田界隈のレトロな風景



夏は あさがお。

(千代田デイにて)

みどりの風



2021.9.1

-NO.276-

人・ひと日記

小林 功

オリンピックで印象に残ったシーンは・・・二つあります。ひとつは卓球の混合ダブルス準々決勝で水谷、伊藤ペアがドイツチームに大逆転勝利した試合。6対10のマッチポイント。ここで10対10に持ち込めれば逆転の可能性がある・・・テレビを観る人はみんなそう祈ったのか・・・その通りになりました。二番目の印象シーンは閉会式のオープニングで古関裕作曲のあの「オリンピックマーチ」が演奏されたこと。このマーチをもう一度オリンピックの場で聴きたい・・・ずっと願っていたことが叶いました。

結局、オリンピックは無観客で実施されました。選手はバブルと称する隔離ゾーンの中につくられた「向こう側」の世界で生活し、競技する。そこでは大きなトラブルは無く無事に大会を終えたようです。しかし「こちら側」の世界では新型コロナの感染はこの期間に合わせたように急激に増加し、東京では一日数百人レベルであった新規感染者が2週間で五千人超えに。医療現場は混乱状態に。国は今後さらに増えるであろう重症者対策として「自宅療養」を前提にするよう方針転換。病床が逼迫して症状が急変しても入院させてもらえず自宅で亡くなる人が増えている。ここで酸素ステーション構想が発表されました。体育館のようなスペースをパーティションで仕切りベッドを置き、酸素投与が必要になった自宅療養者を収容するという構想。病院のロビーや通路にベッドが並び、酸素の投与を受けながら治療を待つ外国の映像を思い出しました。これはもはや「医療崩壊」が起きているということではないかと思えます。

テレビでも勝負に勝った選手たちの爆発的な喜びは見る人を感動させてくれます。しかし、大観衆の前でやりたかった選手の本音を聞くべきです。スポーツに限らず活動の場を失っているすべてのパフォーマーに共通する思いだと思います。演ずる者がいてそれを受ける者がいるというライブの舞台を作り出せなかった今回のオリンピックは失敗だったと思います。観客を入れられない時期に開催してしまった判断は主催者や政治の思惑から来たものです。今回のオリンピック開催を批判的にみることに、アスリートの活躍を称賛することは別物だと思えます。

発行 社会福祉法人 悠朋会

相模原市中央区千代田2-4-1

千代田デイサービスセンター

ヘルパーステーション千代田

千代田介護支援センター

児童クラブ いちばん星

042-704-0281

042-704-0286

080-58865-1586

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

☆千代田夏祭り2021☆

8月21、22日と千代田デイサービスの夏祭りを行いました！

地域の夏祭りも花火大会も今年も中止、、、
ということで今回の夏祭りのテーマは



『コロナ撃退！！千代田祭り！』

と題して、射的やルーレットのゲームの中でコロナウイルスを撃退していくような内容にアレンジして楽しんで頂きました。



おやつには的屋風駄菓子屋さんの「千代田屋」
開店！！

昔懐かしい駄菓子から現代風の駄菓子のラインナップからお好きなものを選んで頂きました♪

射的、ルーレットはチーム戦で行いました。

各々3チームに分かれて、各ゲーム優勝チームには豪華景品(?)も混ざった「千本引き」を楽しんで頂きました☆



新人職員紹介



8月1日よりケアマネジャーとして勤務しております、宝山由美子（ほうざんゆみこ）です。好きな場所は関ヶ原ですが、ここ何年も行けていないので心だけ旅行しています（戦国時代が大好きです）。

これまで長く星が丘地区の高齢者支援センターで勤務していたので、実家に帰ってくるような気持ちで毎日通勤しています。ケアマネジャーとして皆様のお役に立てるよう努力していきます。

どうぞ宜しくお願いします。

宝山 由美子

好きな時代：

戦国時代

帰りの時間には盆踊り♪懐かし音色と共に千代田の夏は過ぎていくのでした☆





児童クラブいちばん星

～2021年の夏休み～



オリンピックイヤーの2021年、若い力の躍動でメダルラッシュに沸いているジャパン。この夏、いちばん星の部屋にも待望のテレビを購入させていただき、競技に見入る時間も得ました。

コロナ収束どころかコロナの猛威は衰えません。いちばん星の夏休みの行事も自粛せざるを得ない現状です。そんな中ですが、恒例のクラブの夏まつりだけは、縮小の中楽しみたいと準備を進めました。

くじ引き・ボーリング・ダーツ・はてなすくい等、子どもたちのアイデアを生かしたお店が並びます。そして保護者の方の協力でギター演奏会を開くことができました。密を避けるためメイプルホールを貸し切り楽しく行いました。



子どもたちと過ごしている私たち支援員もパワーをもらいます。子どもは、「遊びの天才」いろいろな活動を工夫してクラブ生活を楽しんでいます。

願うは、コロナ前の生活を早く・・・早く取り戻せたらと願ういちばん星です。



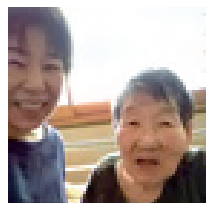
書道
体重測定
敬老会
誕生会

9日(木)、24日(金)
6日(月)～12日(日)
19日(日)
24日(金)～30日(木)



ねっちしよう

むかし昔、瀬戸内海の
小さな島におとよさんが
住んでいました。



おとよさんには看護師

をしている娘さんが町に住んでいます。

あるとき娘さんにおとよさんから電
話がかかってきました。

おとよ あんのお。このごろあのお、
おとしい病気がはやっちよる、
ゆうてのお。

役場のお姉さんがわしら年寄りに
集会所に集まれ、ゆうて・・・今
いつてきたんよお。

娘 なんじゃったん

おとよ わりやあ。おとしいんどお。
死ぬる、よおたどお。

「ねっちしよう」ゆうてのお 外
におったら死ぬる、よおた。

みずのめえ、よおたどお。

「ねっちしよう」はおとしいん
どお。

わいらあ。こまったにい。

家の中でじっとしちよっても「ね
っちしよう」になる、よおたどお。

おとよ わいらあ。おとしいんどお。

死ぬるんどお。水のめえ。水
のめえ。

ほんじゃがの 水ばっかしもだめ
じゃあ、よおたど。

梅干しくえ よおたわい。

われものお 水のんで 梅干しく
えよお。

「ねっちしよう」はおとしいん
どお。水のめえ。梅干しくえ。



瀬戸内海を望む小さな島 豊島

山の頂上から実家の集落を望む

標準語 要約

最近、恐ろしい病気「熱中症」が流
行っている。死んでしまうこともあ
る。

家の外に限らず中にいる時も水を
飲み、梅干しをたべなさい。

「熱中症」は恐ろしい病気です。

毎年この時期になると「ねっちしよ
う」の話を思い出し、私の育った海や
山を思います。

今、おとよさんは89歳。施設でお
世話になっています。「もしもの時、
われは来んでもええど、みんな順番じ
やけんの。」と言われていきます・・・
施設の玄関には「県外の方の面会はお
断りします」と張り紙があります。
どうぞ、どうぞ流行り病が収束しま
すように。と静かに祈っています。



木下 和代

編集後記

小中学校の夏休みが延びました。三女は大喜び。二
女は部活ができずに悲しそう。長女は自動車の教習所
に通い始めて楽しそう。長男は大学とバイトも行って
いる。私はそれ見て幸せです。 H